

医師調査アンケート

資料6

【厚労科研】精神科領域の医療機関で行われる心理検査の活用可能性と有用性に関する調査

【調査概要】

この調査は、令和5年度厚生労働科学研究費補助金事業「医療機関における心理検査の実施実態と活用可能性に関する研究」(研究代表者 上智大学教授 松田 修)の分担研究として行われる無記名オンライン調査です。

【研究課題名】

精神科領域の医療機関における心理検査の活用可能性の検討：医師から見た活用可能性と有用性

【研究目的】

本研究は、精神科の医療機関における公認心理師の心理検査業務の有用性を明らかにするために、医師から見た心理検査業務の活用可能性と有用性を検討することを目的とします。

【調査対象】

調査対象は、精神科病院、精神科診療所、大学病院・一般病院の精神科領域の診療科で診療をなさっている医師です。

【調査方法】

調査は無記名Webアンケートで行います。回答時間は、おおよそ10～20分くらいです。

アンケートでは、以下の4つのグループの精神疾患に対する心理検査の活用状況と有用性についてお聞きいたします。なお、ご自身が普段診療していないグループの疾患に関する質問はスキップできるように設定しております。

- 1 小児期・青年期の精神疾患
- 2 成人期の精神疾患（ただし、発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く）
- 3 成人期の発達障害
- 4 認知症などの器質性精神障害

アンケートでは、心理検査の活用・実施状況、医師の立場から見た心理検査の有用性、心理検査報告書のあり方への意見、タスク・シフト/シェアの観点から見た心理検査業務への意見、フィードバック面接の実施状況と有用性、回答者の基本情報についてお尋ねします。

【研究期間と回答期限】

研究期間は、2023年度～2024年度の予定です。調査への回答は、お手元に研究協力依頼書ならびに研究内容説明書が届いてから **2週間以内**にお願いできますと幸いです。

【参加の自由】

この研究への参加は強制されるものではありません。研究代表者、研究協力者、研究協力機関・団体、職場の上司などから、研究対象者に研究協力の依頼が行われる可能性があります。研究に参加されない場合であっても、あなたが不利益を受けることは一切ありません。質問内容に大きなストレスを引き起こすものは含まれておりませんが、我慢できない大きなストレスを感じた場合は、回答を途中でやめていただいても構いません。その場合でも、あなたに不利益が生じることはありません。なお、回答送信後における参加同意の撤回はできませんのでご了承ください。

【個人情報の取り扱い】

皆さまの回答データは、研究責任者（上智大学 松田修）の研究室のPCにパスワードを付して保管します。研究成果公表後10年経過後、データを完全削除した上で物理的にも破壊するなどデータを復元できないようにしてから廃棄します。また、データは本研究の目的のみに使用されます。本研究のデータは、統計的に処理いたしますので、個人が特定される形で発表されることはありません。なお、将来、本調査のデータが厚生労働省における資料として利用されたり、現時点で特定されない将来の研究のために利用されたりする可能性はありますが、その場合も、個人が特定される形での提供はいたしません。

【倫理的配慮】

本研究は上智大学「人を対象とする研究」に関する倫理委員会の承認を受けています(承認番号XXXX-XX)。開示すべきCOIはございませんが、研究メンバーやその関係者、あるいは、ご所属の機関や団体の上司から研究協力の依頼がございましたも、本研究に参加するかどうかは任意であり、研究に参加しなくても一切の不利益は生じません。

【研究結果の公表】

本研究の結果は厚生労働科学研究成果データベースや関連学会等で公表する予定です。

【問い合わせ】

本研究へのご意見やご質問などがありましたら、以下の研究責任者のアドレスまでご連絡ください。

上智大学総合人間科学部心理学科教授

松田 修 Email: matsuda@sophia.ac.jp

〒102-8554

東京都千代田区紀尾井町 7-1

上智大学総合人間科学部心理学科事務室

TEL: 03-3238-3811

*** 必須の質問です**

- 1。 以上の点についてよくお読みになり同意される方は、下記の同意チェックボタンの「同意 ***** する」をお選びいただき、次のページから回答を始めてください。「同意しない」場合は、Google Formを閉じて終了してください。

1 つだけマークしてください。

☐ 同意します。

質問2 にスキップします

ご自身の業務における**心理検査の活用状況**についてお尋ねします。

2。 あなたは、日頃の業務で、**心理検査を活用**していますか？ *

1 つだけマークしてください。

☐ 必要に応じて、活用している

☐ 活用していない 質問82 にスキップします

心理検査の実施状況についてお聞きます。

3。 あなたが心理検査の実施を依頼する職種として、最も頻度が高いのはどの職種ですか？ *

1 つだけマークしてください。

☐ 心理職（公認心理師、臨床心理士等）

☐ リハビリ職（OT、ST等）

☐ 看護師

☐ PSW

☐ 自分以外の医師

☐ 自分で実施しているので、依頼しない

☐ その他: _____

4。 検査を他者に依頼した場合、あなたは普段どのような方法で、検査結果の報告を受けていますか？最も頻度の高い方法を1つお答えください。なお、書面には、検査レポートだけでなく、カルテへの記載等も含まれます。また、ここでの「**検査データ**」とは、IQや検査スコアなどの量的データと、描画や患者の回答などの質的データを指します。「**検査者の所見**」とは、医師の依頼理由に対する検査者の意見を指します。

1 つだけマークしてください。

☐ 1 「検査データ」と「検査者の所見」が書かれた「書面」で報告を受けている

☐ 2 「1の書面」に加えて、必要に応じて「口頭」でも報告を受けている

☐ 3 「検査データ」のみが記載された「書面」で報告を受けている

☐ 4 「3の書面」と、必要に応じて「口頭」でも報告を受けている

☐ 5 「口頭」のみで報告を受けている

☐ 6 検査者からの報告は受けていないが、カルテに検査結果を記載している

☐ 口供と自白の報告は文面、口頭で和木や別児を記載している

☐ その他: _____

「18歳未満の小児期・青年期の精神疾患」の患者の診療状況についてお聞きます。

例、知的障害、学習障害、ADHD、ASD、情緒障害。

5. あなたは、日頃、「小児期・青年期の精神疾患」の患者の診療を行なっていますか？ *

1 つだけマークしてください。

☐ はい

☐ いいえ 質問 18 にスキップします

「小児期・青年期の精神疾患」の患者の診療における心理検査の活用状況についてお聞きます。

6. あなたは、日頃、「小児期・青年期の精神疾患」の患者の診療で心理検査を活用していますか？ *

1 つだけマークしてください。

☐ はい

☐ いいえ 質問 18 にスキップします

「小児期・青年期の精神疾患」の患者を対象とする心理検査の有用性についてお聞きます。
以下の質問についてあなたのお考えに最もよく当てはまる選択肢を 1 つ選んでください。

7. 「小児期・青年期の精神疾患」の患者に対する心理検査の結果は、あなたの「診療業務（診断と治療）」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

☐ 5 非常に役に立っている

☐ 4 まあまあ役に立っている

☐ 3 どちらともいえない

☐ 2 あまり役に立っていない

☐ 1 全く役に立っていない

- 8。 「小児期・青年期の精神疾患」の患者に対する心理検査の結果は、「患者の強みや健康な部分の理解」に、どの程度役に立っていますか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

- 9。 「小児期・青年期の精神疾患」の患者に対する心理検査の結果は、「主訴の背景要因の理解」に、どの程度役に立っていますか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

- 10。 「小児期・青年期の精神疾患」の患者に対する心理検査の結果は、「共同意思決定（医師と患者が治療のゴールや希望、互いの役割について話し合い、共に適切な治療を見つけ出すこと）」に、どの程度役に立っていますか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

☐ 2 あまり役に立っていない

☐ 1 全く役に立っていない

11. 「小児期・青年期の精神疾患」の患者に対する心理検査の結果は、「意見書や診断書などの書類作成」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

☐ 5 非常に役に立っている

☐ 4 まあまあ役に立っている

☐ 3 どちらともいえない

☐ 2 あまり役に立っていない

☐ 1 全く役に立っていない

12. 「小児期・青年期の精神疾患」の患者に対する心理検査の結果は、医療機関内における「多職種連携・協働（例、カンファレンス、チーム内の情報共有、チームアプローチ）」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

☐ 5 非常に役に立っている

☐ 4 まあまあ役に立っている

☐ 3 どちらともいえない

☐ 2 あまり役に立っていない

☐ 1 全く役に立っていない

13. 「小児期・青年期の精神疾患」の患者に対する心理検査の結果は、「患者本人に対する支援（日常生活や社会生活の困りごとの相談、助言や指導）」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

14. 「小児期・青年期の精神疾患」の患者に対する心理検査の結果は、「家族に対する支援^{*}（家族の困りごとの相談、助言や指導）」に、どの程度役に立っていますか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

15. 「小児期・青年期の精神疾患」の患者に対する心理検査の結果は、「関係者に対する支援^{*}（学校・職場・地域・施設の関係者の困りごとの相談、助言や指導）」に、どの程度役に立っていますか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

16. 「小児期・青年期の精神疾患」の患者に対して、あなたが普段活用している心理検査は *
どのような種類の検査ですか？ **活用の頻度の高いものを最大2つ選んでください。1つでも構いません。**

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 知能や認知機能に関する検査
☐ 発達や発達障害に関する検査
☐ パーソナリティに関する検査
☐ 精神症状に関する検査
☐ その他: _____

17. （任意）小児期・青年期の精神疾患の診療における心理検査の活用について、ご意見がございましたら、お聞かせください。

発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く「成人期の精神疾患」の患者の診療状況についてお聞きします。

例、統合失調症、気分（感情）障害、神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害、摂食障害、パーソナリティ障害。ただし、成人の発達障害や、認知症などの器質性精神障害は除く。

18. あなたは、日頃、「成人期の精神疾患（発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く） *

1つだけマークしてください。

- ☐ はい
☐ いいえ 質問31 にスキップします

「成人期の精神疾患（発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く）」の患者の診療における心理検査の活用状況についてお聞きします。

19. あなたは、日頃、「**成人期の精神疾患（発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く）**」の診療で**心理検査を活用**していますか？ *

1 つだけマークしてください。

☐ はい

☐ いいえ 質問31 にスキップします

「**成人期の精神疾患（発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く）**」の患者を対象とする**心理検査の有用性**についてお聞きます。以下の質問についてあなたのお考えに最もよく当てはまる選択肢を1つ選んでください。

20. 「**成人期の精神疾患（発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く）**」の患者に対する心理検査の結果は、あなたの「**診療業務（診断と治療）**」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

☐ 5 非常に役に立っている

☐ 4 まあまあ役に立っている

☐ 3 どちらともいえない

☐ 2 あまり役に立っていない

☐ 1 全く役に立っていない

21. 「**成人期の精神疾患（発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く）**」の患者に対する心理検査の結果は、「**患者の強みや健康な部分の理解**」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

☐ 5 非常に役に立っている

☐ 4 まあまあ役に立っている

☐ 3 どちらともいえない

☐ 2 あまり役に立っていない

☐ 1 全く役に立っていない

22. 「成人期の精神疾患（発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く）」の患者に対する心理検査の結果は、「主訴の背景要因の理解」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

☐ 5 非常に役に立っている

☐ 4 まあまあ役に立っている

☐ 3 どちらともいえない

☐ 2 あまり役に立っていない

☐ 1 全く役に立っていない

23. 「成人期の精神疾患（発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く）」の患者に対する心理検査の結果は、「共同意思決定（医師と患者が治療のゴールや希望、互いの役割について話し合い、共に適切な治療を見つけ出すこと）」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

☐ 5 非常に役に立っている

☐ 4 まあまあ役に立っている

☐ 3 どちらともいえない

☐ 2 あまり役に立っていない

☐ 1 全く役に立っていない

24. 「成人期の精神疾患（発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く）」の患者に対する心理検査の結果は、「意見書や診断書などの書類作成」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

25. 「成人期の精神疾患（発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く）」の患者に対する心理検査の結果は、患者を対象とする心理検査の報告書の内容は、医療機関内における「多職種連携・協働（例、カンファレンス、チーム内の情報共有、チームアプローチ）」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

26. 「成人期の精神疾患（発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く）」の患者に対する心理検査の結果は、「患者本人に対する支援（日常生活や社会生活の困りごとの相談、助言や指導）」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

27. 「成人期の精神疾患（発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く）」の患者に対 *
する心理検査の結果は、「家族に対する支援（家族の困りごとの相談、助言や指導）」
に、どの程度役に立っていますか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

28. 「成人期の精神疾患（発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く）」の患者に対 *
する心理検査の結果は、「関係者に対する支援（学校・職場・地域・施設の関係者の困
りごとの相談、助言や指導）」に、どの程度役に立っていますか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

29. 「成人期の精神疾患（発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く）」の患者に対して、あなたが普段活用している心理検査はどのような種類の検査ですか？ **活用の頻度の高いものを最大2つ選んでください。1つでも構いません。** *

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 知能や認知機能に関する検査
☐ 発達や発達障害に関する検査
☐ パーソナリティに関する検査
☐ 精神症状に関する検査
☐ その他: _____

30. （任意）成人期の精神疾患（発達障害や、認知症などの器質性精神障害を除く）の診療における心理検査の活用について、ご意見がございましたら、お聞かせください。

「成人期の発達障害」の患者の診療状況についてお聞きます。

例、成人のASD、ADHD、SLD、知的障害。

31. あなたは、日頃、「成人期の発達障害」の患者の診療を行なっていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ はい
☐ いいえ 質問44 にスキップします

「成人期の発達障害」の患者の診療における心理検査の活用状況についてお聞きます。

32. あなたは、日頃、「成人期の発達障害」の患者の診療で心理検査を活用していますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ はい
☐ いいえ 質問44 にスキップします

「成人の発達障害」の患者を対象とする心理検査の有用性についてお聞きます。以下の質問についてあなたのお考えに最もよく当てはまる選択肢を1つ選んでください。

についてあなたの考え方に基づき、当てはまる選択肢を1つ選択してください。

33. 「成人期の発達障害」の患者に対する心理検査の結果は、あなたの「診療業務（診断と治療）」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

34. 「成人期の発達障害」の患者に対する心理検査の結果は、「患者の強みや健康な部分の理解」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

35. 「成人期の発達障害」の患者に対する心理検査の結果は、「主訴の背景要因の理解」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

36. 「成人期の発達障害」の患者に対する心理検査の結果は、「共同意思決定（医師と患者が治療のゴールや希望、互いの役割について話し合い、共に適切な治療を見つけ出すこと）」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている

- ☐ 4 まあま役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

37. 「**成人期の発達障害**」の患者に対する心理検査の結果は、「**意見書や診断書などの書類**」*****作成」に、どの程度役に立っていますか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあま役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

38. 「**成人期の発達障害**」の患者に対する心理検査の結果は、医療機関内における「**多職種連携・協働**（例、カンファレンス、チーム内の情報共有、チームアプローチ）」に、どの程度役に立っていますか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあま役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

39. 「**成人期の発達障害**」の患者に対する心理検査の結果は、「**患者本人に対する支援**（日常生活や社会生活の困りごとの相談、助言や指導）」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

40. 「**成人期の発達障害**」の患者に対する心理検査の結果は、「**家族に対する支援**（家族の困りごとの相談、助言や指導）」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

41. 「**成人期の発達障害**」の患者に対する心理検査の結果は、「**関係者に対する支援**（学 *
校・職場・地域・施設の関係者の困りごとの相談、助言や指導）」に、どの程度役に立
っていますか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

42. 「**成人期の発達障害**」の患者に対して、あなたが普段活用している心理検査はどのよう *
な種類の検査ですか？ **活用の頻度の高いものを最大2つ選んでください。1つでも構い
ません。**

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 知能や認知機能に関する検査
- ☐ 発達や発達障害に関する検査
- ☐ パーソナリティに関する検査
- ☐ 精神症状に関する検査
- ☐ その他: _____

43. （任意）成人期の発達障害の診療における心理検査の活用について、ご意見がございましたら、お聞かせください。

「**認知症などの器質性精神障害**」の患者の診療状況についてお聞きます。

例、認知症、高次脳機能障害、せん妄、アルコール・薬物による中毒性精神障害。

44. あなたは、日頃、「**認知症などの器質性精神障害**」の患者の診療を行なっていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ はい
- ☐ いいえ 質問 57 にスキップします

「**認知症などの器質性精神障害**」の患者の診療における心理検査の活用状況についてお聞き
します

ひまわり。

45. あなたは、日頃、「**認知症などの器質性精神障害**」の患者の診療で**心理検査を活用して** *

いますか？

1 つだけマークしてください。

☐ はい

☐ いいえ 質問57 にスキップします

「**認知症などの器質性精神障害**」の患者を対象とする**心理検査の有用性**についてお聞きします。以下の質問についてあなたのお考えに最もよく当てはまる選択肢を1つ選んでください。

46. 「**認知症などの器質性精神障害**」の患者に対する心理検査の結果は、あなたの「**診療業務（診断と治療）**」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

☐ 5 非常に役に立っている

☐ 4 まあまあ役に立っている

☐ 3 どちらともいえない

☐ 2 あまり役に立っていない

☐ 1 全く役に立っていない

47. 「**認知症などの器質性精神障害**」の患者に対する心理検査の結果は、「**患者の強みや健康な部分の理解**」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

☐ 5 非常に役に立っている

☐ 4 まあまあ役に立っている

☐ 3 どちらともいえない

☐ 2 あまり役に立っていない

☐ 1 全く役に立っていない

48. 「**認知症などの器質性精神障害**」の患者に対する心理検査の結果は、「**主訴の背景要因の理解**」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

☐ 5 非常に役に立っている

☐ 4 まあまあ役に立っている

- ☒ 4 ほぼ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

49. 「認知症などの器質性精神障害」の患者に対する心理検査の結果は、「**共同意思決定** ★
(医師と患者が治療のゴールや希望、互いの役割について話し合い、共に適切な治療を見つけ出すこと)」に、どの程度役に立っていますか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

50. 「認知症などの器質性精神障害」の患者に対する心理検査の結果は、「**意見書や診断書** ★
などの書類作成」に、どの程度役に立っていますか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

51. 「認知症などの器質性精神障害」の患者に対する心理検査の結果は、医療機関内における「多職種連携・協働（例、カンファレンス、チーム内の情報共有、チームアプローチ）」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

52. 「認知症などの器質性精神障害」の患者に対する心理検査の結果は、「患者本人に対する支援（日常生活や社会生活の困りごとの相談、助言や指導）」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

53. 「認知症などの器質性精神障害」の患者に対する心理検査の結果は、「家族に対する支援（家族の困りごとの相談、助言や指導）」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

54. 「認知症などの器質性精神障害」の患者に対する心理検査の結果は、「関係者に対する支援（職場・地域・施設の関係者の困りごとの相談、助言や指導）」に、どの程度役に立っていますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立っている
- ☐ 4 まあまあ役に立っている
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立っていない
- ☐ 1 全く役に立っていない

55. 「認知症などの器質性精神障害」の患者に対して、あなたが普段活用している心理検査はどのような種類の検査ですか？ 活用の頻度の高いものを最大2つ選んでください。1 つでも構いません。 *

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 知能や認知機能に関する検査
- ☐ 発達や発達障害に関する検査
- ☐ パーソナリティに関する検査
- ☐ 精神症状に関する検査

☐ その他: _____

56. (任意) 認知症などの器質性精神障害の診療における心理検査の活用について、ご意見がございましたら、お聞かせください。

心理検査報告書の内容についてお聞きします。心理検査の報告書には、「検査データ」以外に、どのような情報や意見が含まれていると、医師の検査結果の理解や患者に対する説明にとって有用だと思いますか？ 以下の内容についてあなたのお考えに最もよく当てはまる選択肢を1つ選んでください。なお、ここでいう「検査データ」とは、IQや検査スコアなどの量的データと、描画や患者の回答などの質的データを指します。

57. 診断や状態把握の助けとなる情報が含まれると、有用である。 *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 そう思う
☐ 4 ややそう思う
☐ 3 どちらともいえない
☐ 2 ややそう思わない
☐ 1 そう思わない

58. 現在の生活上の困難や症状の背景の理解につながる情報が含まれると、有用である。 *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 そう思う
☐ 4 ややそう思う
☐ 3 どちらともいえない
☐ 2 ややそう思わない
☐ 1 そう思わない

59. 検査から得られた患者の強みや長所、健康な部分に関する情報が含まれると、有用である。 *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 そう思う
☐ 4 ややそう思う

- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 ややそう思わない
- ☐ 1 そう思わない

60. **検査時の患者の様子に関する情報が含まれると、有用である。** *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 そう思う
- ☐ 4 ややそう思う
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 ややそう思わない
- ☐ 1 そう思わない

61. **生活上の困難に対処し、今後の生活をより良くするための検査者の意見が含まれると、** *

有用である。

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 そう思う
- ☐ 4 ややそう思う
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 ややそう思わない
- ☐ 1 そう思わない

62. **患者に渡せる報告書（本人向け報告書）があると、有用である。** *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 そう思う
- ☐ 4 ややそう思う
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 ややそう思わない
- ☐ 1 そう思わない

63. （任意）心理検査報告のあり方について、ご意見がございましたら、お聞かせください。

医師の労働時間の短縮のために、「医療従事者の合意形成のもとでの業務の移管や共同化(タスク・シフト/シェア)」が推進されています。タスク・シフト/シェアは、医療従事者がそれぞれの専門性を活かせるよう業務分担を見直すことで、医師の負担軽減と同時にチーム医療の水準を上げることを目指しています。このタスク・シフト/シェアの観点から、公認心理師の心理検査業務に関するあなたのお考えについてお伺いいたします。

64. タスク・シフト/シェアの観点から、公認心理師に、心理検査の結果を患者に説明する役割を任せることについてどう思いますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 1 反対
- ☐ 2 どちらかといえば反対
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 4 どちらかといえば賛成
- ☐ 5 賛成

65. タスク・シフト/シェアの観点から、心理検査を実施した公認心理師が、心理検査の結果 * を患者に直接説明し、質問を受けながら、患者とともに話し合う面接（フィードバック面接）があると、心理検査の結果を自分で読み解く負担が軽減されると思いますか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 1 そう思わない
- ☐ 2 どちらかといえばそう思わない
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 4 どちらかといえばそう思う
- ☐ 5 そう思う

66. タスク・シフト/シェアの観点から、公認心理師によるフィードバック面接があると、患者の自己理解が深まり、その後の診療における医師の負担が軽減されると思いますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 1 そう思わない
- ☐ 2 どちらかといえばそう思わない
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 4 どちらかといえばそう思う
- ☐ 5 そう思う

67. タスク・シフト/シェアの観点から、心理検査後の患者に対する結果の説明に関して、医師と公認心理師はどのような協働のあり方が望ましいと思いますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 患者への説明は、公認心理師の報告書をもとに、医師が行うのがよい
- ☐ 患者への説明に公認心理師が同席し、心理師から結果を説明してもらうのがよい
- ☐ 予め医師と意見をすり合わせた上で、説明は公認心理師に任せるのがよい
- ☐ 医師が簡単に説明した上で、詳しい説明は公認心理師に任せるのがよい
- ☐ その他: _____

68. タスク・シフト/シェアの観点から、患者に対する心理検査結果の説明を公認心理師に任せることができたなら、医師の業務負担は軽減すると思いますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 1 そう思わない 質問 70 にスキップします
- ☐ 2 どちらかといえばそう思わない 質問 70 にスキップします
- ☐ 3 どちらともいえない 質問 70 にスキップします
- ☐ 4 どちらかといえばそう思う
- ☐ 5 そう思う

4 または 5 と回答した方のみ、以下の質問にお答えください。

69. 患者に対する心理検査結果の説明を公認心理師に任せることができたなら、1日当たりのあなたの業務における時間的負担は、おおよそ何分くらい減ると思いますか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 1～15分程度
- ☐ 16～30分程度

- ☐ 31～45分程度
- ☐ 46～60分程度
- ☐ 61～75分程度
- ☐ 76～90分程度
- ☐ 91分以上

公認心理師が、心理検査の結果を患者に直接説明し、質問を受けながら、患者とともに話し合う**フィードバック面接**について、お聞きます。

70. 心理検査の結果をより効果的に治療に役立てるには、心理職等の検査者が心理検査の結果を直接患者に説明し、質問を受けながら、患者とともに結果について話し合う機会（**フィードバック面接**）が、すべての患者に対してではないが、必要な場合があると思いますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 そう思う
- ☐ 4 ややそう思う
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 ややそう思わない
- ☐ 1 そう思わない

71. （任意）上記のように、回答した理由を教えてください。

72. あなたが担当する患者の中に、実際に心理職等による**フィードバック面接**を受けたことのある患者はいますか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ はい
- ☐ いいえ 質問82 にスキップします

過去に**フィードバック面接**を受けたことのある患者を担当する医師に、**フィードバック面接**

の有用性についてお聞きします。以下の質問について、実際の患者の様子をもとに、あなたのお考えに最もよく当てはまる選択肢を1つ選んでください。

73. フィードバック面接は、**患者が自身の病状を理解するのに役に立ちましたか？** *

1つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立った
- ☐ 4 まあまあ役に立った
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立たなかった
- ☐ 1 全く役に立たなかった

74. フィードバック面接は、**患者が自身の健康な部分や強み理解するのに役に立ちましたか？** *

1つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立った
- ☐ 4 まあまあ役に立った
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立たなかった
- ☐ 1 全く役に立たなかった

75. フィードバック面接は、**患者が自身の悩みや困りごとにどう対処したらよいかを考えるのに役に立ちましたか？** *

1つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立った
- ☐ 4 まあまあ役に立った
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立たなかった
- ☐ 1 全く役に立たなかった

76. フィードバック面接は、**患者の治療に対するモチベーションの向上に役に立ちましたか？** *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立った
- ☐ 4 まあまあ役に立った
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立たなかった
- ☐ 1 全く役に立たなかった

77. フィードバック面接は、**共同意思決定**（医師と患者が治療のゴールや希望、互いの役割 *
について話し合い、共に適切な治療を見つけ出すこと）に役に立ちましたか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立った
- ☐ 4 まあまあ役に立った
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立たなかった
- ☐ 1 全く役に立たなかった

78. フィードバック面接は、**患者の病状の改善**に役に立ちましたか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立った
- ☐ 4 まあまあ役に立った
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立たなかった
- ☐ 1 全く役に立たなかった

79. フィードバック面接は、**患者の再発予防**に役に立ちましたか？ *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立った
- ☐ 4 まあまあ役に立った
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立たなかった
- ☐ 1 全く役に立たなかった

80. フィードバック面接は、**実際に、患者が自身の悩みごとや問題を解決するのに役に立ち** *
ましたか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立った
- ☐ 4 まあまあ役に立った
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立たなかった
- ☐ 1 全く役に立たなかった

81. フィードバック面接は、**患者が自分らしい社会生活や日常生活を続けるのに役に立ちま** *
したか？

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 非常に役に立った
- ☐ 4 まあまあ役に立った
- ☐ 3 どちらともいえない
- ☐ 2 あまり役に立たなかった
- ☐ 1 全く役に立たなかった

あなたのことについてお聞きます。

82. 主たる勤務先医療機関の種類を教えてください。 *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 精神科病院
- ☐ 精神科・精神神経科診療所
- ☐ 大学病院の精神科
- ☐ 一般病院の精神科
- ☐ その他

83。 上記の勤務先の医療機関の種類（設置母体）を教えてください。 *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 国立系の医療機関
- ☐ 公立系の医療機関
- ☐ 私立の医療機関
- ☐ その他: _____

84。 臨床経験を教えてください。 *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 5 年未満
- ☐ 5 年から 10 年未満
- ☐ 10 年から 15 年未満
- ☐ 15 年から 20 年未満
- ☐ 20 年から 25 年未満
- ☐ 25 年から 30 年未満
- ☐ 30 年以上

85。 あなたの年齢（年代）について教えてください。 *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 20 歳代
- ☐ 30 歳代
- ☐ 40 歳代
- ☐ 50 歳代
- ☐ 60 歳以上

86。 あなたの性別について教えてください。 *

1 つだけマークしてください。

- ☐ 男
- ☐ 女
- ☐ 回答しない

☐ その他

- 87。 （任意）最後に、精神科における心理検査の活用について、ご意見がございましたら、お聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。回答はまだ送信されていません。一度送信すると、研究参加の同意は撤回できません。参加に同意いただける方は「同意する」を選び、送信ボタンを押して回答を送信してください。なお、同意しない方は、送信せずに、ここでGoogle Formを終了してください。

- 88。 *

1 つだけマークしてください。

☐ 同意する

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

